

第4次総合計画改訂版素案に対する意見（第2部会 R5.6.16開催）への回答

大綱 1 人権・市民自治

政策 1 平和と人権を尊重するまちづくり

第4回総計部会

資料5

R5.7

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	現状と課題 施策1-1-2	「性的マイノリティの人に対する配慮など」とあるが、理解を促進する法案も出た中、「配慮」だけでいいのか。配慮以外にも取り組んでいることがあるならば、それも反映してはどうか。また、「性的マイノリティ」という言葉も引っかかる。人権課題をもう一つ挙げた上で、「配慮」という言葉を削除してはどうか。「現状と課題」と「施策」の両方に出てくる言葉のため、合わせて検討をお願いします。	<p>「現状と課題」2段落目 人権尊重の意識の高まりは国際的な潮流となっており、本市においてもさまざまな啓発活動や人権教育などに取り組んでいます。しかし、差別や偏見などの人権侵害の事例は依然としてみられるとともに、LGBTなど性的マイノリティの人に対する<u>理解の増進</u>なども課題となっており、人権問題の解消に向けた取組を一層進めていく必要があります。</p> <p>「施策」1-1-2 さまざまな人権問題の解消に向け、あらゆる機会を通じて、人権に関する啓発や教育を行うとともに、性的マイノリティの人に対する<u>理解の増進</u>など人権課題に取り組みます。また、人権問題に関して悩みや不安を抱える市民に対し、相談などの支援を行います。</p>	人権政策室

政策2 市民自治によるまちづくり

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	現状と課題	3段落目の4行目「ICTの活用などをとおして、地縁によることなく連携することが可能なネットワーク型の活動が浸透・拡大するなど」とあるが、「地縁によることなく」は取上げて言う必要があるのか。	<p>地縁による従来型の自治会活動もちろん重要であるが、さらに…との現課判断で記載していましたが、委員ご指摘のように文章として削除したほうがよりわかりやすいと思います。</p> <p>ご指摘を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>「現状と課題」3段落目3行目から また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により地域活動が制限を受ける中、<u>ICTなどの活用によるネットワーク型の活動も浸透・拡大するなど、地域活動の形態が多様化し、自治会活動など従来型・伝統的な活動への関心が相対的に低下しています。</u></p>	市民自治推進室
2	施策1-2-2	現状と課題で「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により地域活動が制限を受ける中」とあるが、施策は何も変わっていない。市民参画の取組では、ワークショップで、市民公益活動団体から協働したいとの声も挙がっている中、市としてその声を受け止めて施策に反映できないか。これまでの施策を否定しているわけではなく、これからもこれまでどおりの市民公益活動への支援でいいのか、ということが聞きたい。「時代の変化に応じて」といった文言が入るべき。入れられないのであれば、どう受け止めたのか、回答をいただきたい。	<p>市民公益活動団体との協働につきましては、地域コミュニティの醸成に必要不可欠なものと考えています。昨年度の吹田市市民自治推進委員会において、ICTを積極的に活用した市民参画の機会の保障や、コロナ禍を踏まえた市と地域団体・住民の協働による地域コミュニティの活性化についてご意見をいただき、自治会向けLINE講座などを実施してきました。</p> <p>このように、「現状と課題」に対して、これまでもさまざまな施策を行ってまいりますが、ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>「施策」1-2-2 市民参画を進めるため、審議会などへの市民委員の参画の促進や広聴・相談体制の強化を図ります。また、さまざまな団体などとの協働の取組を進めるとともに、<u>市民や団体のニーズを把握しながら、市民公益活動への支援を行います。</u></p>	市民自治推進室